

## 1. 地域の特徴



- **人口：186,626人**（R5.7.1現在）で、神奈川県西部の中心都市
- 森里川海オールインワンの自然環境や多彩な文化や生業等の豊富な地域資源
- 小田原駅には鉄道会社5社6路線が乗り入れており、市内には18の鉄道駅がある（東京駅からは新幹線で約35分）



## 2. 応募のきっかけ

- 小田原市では、第5次小田原市総合計画「おだわらTRYプラン」において、将来像を「**市民の力で未来を拓く希望のまち**」と定め、直面する当座の課題解決にとどまらない、「**持続可能な地域社会モデル**」実現を目指してきた。
- この「持続可能な地域社会モデル」は、**SDGsに**おける**2030年のあるべき姿と重なる**と捉え、SDGs未来都市の応募を決めた。

### ◆ 小田原のまちづくりとSDGs

総合計画「おだわらTRYプラン」(2011年度～)

#### 市民の力で未来を拓く希望のまち

3つの  
命題

- 新しい公共をつくる
- 豊かな地域資源を生かす
- 未来に向かって持続可能である

4つの  
目標

- いのちを大切にする小田原
- 希望と活力あふれる小田原
- 豊かな生活基盤のある小田原
- 市民が主役の小田原

後期基本計画(2017～21年度)で示す姿

#### 持続可能な地域社会モデル

豊かな資源に恵まれ、さまざまな可能性に満ちあふれた小田原の地で、緩やかな経済成長と人口減少の時代においても、**向こう50年、100年と歩み続けていくことのできる地域モデル**をつくる道筋を明確にし、その実現に向けて市民と行政が目標を共有して共に取り組んでいくための計画

2011～

第5次小田原市総合計画

「SDGs未来都市」  
に選定

2019

第1期小田原市SDGs未来都市計画

内容を整合

2022

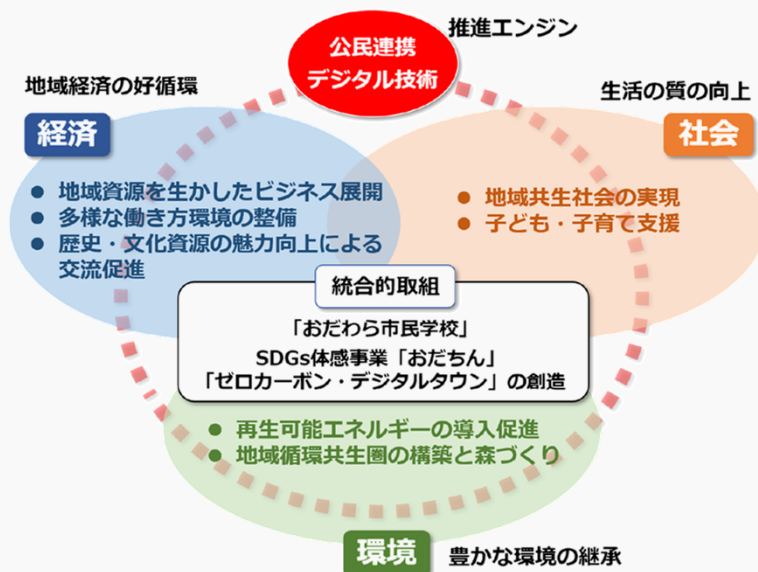
第6次小田原市総合計画

第2期小田原市SDGs未来都市計画

総務省「**地域課題解決のためのスマートシティ推進事業**」  
環境省「**脱炭素先行地域**」  
に選定

## 3. 取組の内容と成果

- 第1期では、恵まれた自然環境、地勢条件、歴史的に育まれてきた技や人、地域の絆などの社会的資源を強みとし、「**おだわら市民学校**」によるひとづくりやつながりの強化を中核に、ポイント循環による「**つながりの見える化**」を通じて、「**いのちを守り育てる地域自給圏**」を創造し、豊かで、安全で、持続可能な暮らしの実現を目指してきた。
- また、三側面をつなぐ統合的な取組により、経済・社会・環境面での課題解決の促進、実践の活性化を図り、公・共・私がそれぞれの役割を担うことで地域全体の取組の好循環が必要である。
- 第1期の取組を進めるなか、持続可能な地域社会をつくるためには、現場での「人のチカラ」が不可欠であるが、環境分野、農業分野、福祉分野など、さまざまな分野で、担い手の確保や育成が喫緊の課題となっていることが確認された。
- 第2期においては、コロナ禍における働き方や生活様式の変化への対応とともに、第1期の取組を進化させるために、**これまでの市民の力・地域の力を土台として**、民間の力を取り入れた「**デジタル技術の活用**」と「**公民連携**」を推進していく。



【公民連携とデジタル技術を活用した経済・社会・環境面での課題解決の促進】

### 【おだわら市民学校】

- 「人のチカラ」を育む学びの場として「おだわら市民学校」を運営。1年目のおだわら学講座(全15回・43名)、2年目の専門課程(6分野・51名)・教養課程(2分野・38名)、課題解決ゼミ(全2回・12名)を通じ、学びを実践活動につなげている

### 【SDGs体感事業「おだちゃん」】

- SDGsの自分ごと化に向け、気軽に楽しみながら地域のつながりを増やしていく仕掛けを継続実施(アプリダウンロード: 5,016人/R4年度末現在)
- ビーチクリーン活動等に活用され、新たな交流を生み出している

### 【「ゼロカーボン・デジタルタウン」の創造】

- 「ゼロカーボン」と「豊かな暮らし」との両立をデジタル技術によって実現する新しい街である究極の「ゼロカーボン・デジタルタウン」を2030年までに本市に創造する挑戦を開始

## 4. 選定されてよかったこと

- SDGs未来都市に認定されたことによる、本市の取組の方向性を効果的に啓発
- 「おだわらSDGs実行委員会」や「おだわらSDGsパートナー」など、市民や民間と一体になった事業の推進
- おだわらSDGsパートナー登録者数は**272**者（R4年度末現在）
- 各種イベントを通じた次世代へのアプローチ機会の増加



(上) SDGsパートナー登録証  
(左) SDGs未来都市おだわらブック

## 5. 困難やつまづきなど苦労したこと及びそれをどのように克服したか

- ✓ **庁内の意識改革**
  - 市長を本部長とし、副市長、教育長、全部長・副部長級職員を構成員とする「**小田原市SDGs推進本部**（現：小田原市地方創生SDGs推進本部）」を立ち上げ、庁内横断的に事業連携を推進
  - 第5次小田原市総合計画 第4次実行計画においては、各施策とSDGsとの関係性を整理し、関連するゴールの設定を実施
  - 2021年度には、SDGsのアクションを所管する「**未来創造・若者課**」を新設
- ✓ **市民への普及啓発**
  - 民間主体の組織「**おだわらSDGs実行委員会**」を中心に「**おだわらSDGsパートナー**」の皆様とSDGsを「楽しむ・学ぶ」を共通テーマに普及啓発を実施
  - つながりの見える化「おだちゃん」を活用し、気軽に楽しみながらSDGsを体感し、地域のつながりを増やしていく仕掛けを継続的に実施
  - パートナー企業が、高校生の職場訪問・体験の受け入れや、小・中学校での出前講座に講師として参加
  - パートナーシップを体現する取組として、地域メディア5社と連携し、SDGsに係る様々な取組を発信するとともに、若者の視点でSDGsを考えていくFMおだわら番組「SDGsユースレイディオ」を放送

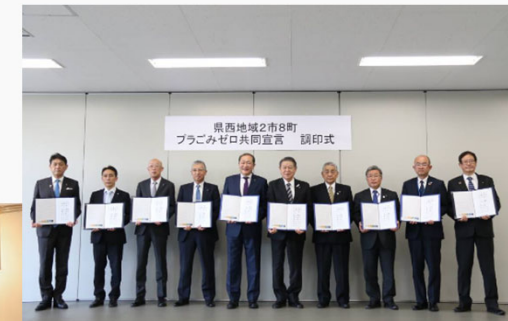
## 6. 今後の展開

- おだわら市民学校卒業生の課題現場への接続など卒業後フォローの充実、「おだちゃん」のユーザーやスポットの質・量の拡充、おだわらSDGs実行委員会の進化など、自律的好循環に向け、民主体の動きを加速させていく。
- 2022年度からスタートした第2期SDGs未来都市計画では、コロナ禍による社会経済情勢の変化に対応するとともに、第1期の取組を進化させるために、これまでの市民の力・地域の力を土台に、公民連携とデジタル技術の活用による課題解決の促進を主眼に、統合的取組を通じて全体の取組の好循環を生み出している。
- 「持続可能であること」という観点から各事業の自走化や自立化についての検討が必要

## 7. 他地域への展開等

- 「おだちゃん」(まちのコイン)は、県内自治体はもとより、全国で取組が展開されている。
- 2020年10月27日に、「**小田原・箱根気候変動ワナチーム宣言**」を行い、小田原市、箱根町の両首長、両議会議員、両自治会組織、小田原箱根商工会議所の7団体が共同で気候危機と呼ぶべき事態である気候変動に対し、官民連携を更に加速させ、経済と環境の好循環をつくりだしていくこととした。
- 2022年2月22日には、小田原市を含む神奈川県の県西地域2市8町で、世界的な問題となっている海洋プラスチックごみ問題に地域全体で取り組むことを目的に、「**県西地域2市8町プラごみゼロ共同宣言**」を行い、プラスチックごみの削減に向け広域連携している。

県西地域2市8町プラごみゼロ共同宣言



小田原・箱根気候変動ワナチーム宣言

## 8. その他

### 小田原市SDGs体感事業 おだちん

Think MIRAI ODAWARA 2030

小田原のコミュニティポイント(おだちん)って? どんなコトができるの?

地域の困り事やSDGsに関連した取組に協力すると「おだちん」がもらえます。もらった「おだちん」は、各スポットで工夫を凝らしたサービスを受け取る際に使えます。

「地域を良くしたい」という人・想いがつながる!

SDGsの取組に関わるきっかけになるよ

ポイントの単位は「おだちん」

スマホアプリでSDGsを体感しよう!

#### SDGsを体感 おだちん supported by まちのコイン

スマートフォンなどで「まちのコイン」というアプリを使って、SDGsにつながる取組に参加すると「おだちん(小田原のポイント単位)」を「もらったり」「つかったり」できます。「人と人」「地域と人」「地域を良くしたい想い」が繋がることが目指しています。

- 1 アプリ「まちのコイン」をダウンロード!
- 2 SDGsに関するイベントへ参加 or 行動
- 3 「おだちん」ゲット!!
- 4 「おだちん」を使う

おだちんを体験!

こんなことに使えます  
家の包丁研ぎます。  
賞味期限の迫ったパンあげます。  
オリジナルカクテルづくりです。

16 平和と正義をすべての人に  
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

世界の紛争を理解し、平和について学ぼう!

### SDGsを体感! おだわらSDGsデイ2022開催

おだわらSDGsパートナー

#### 明日葉

(学童・児童館などを運営)  
廃材を使ってスタンプ製作、  
環境へのお話



#### 小田原短期大学

(保育士・栄養士などを  
目指す短期大学)  
廃材を使っておもちゃ作り



#### 神環環境ソリューション ◆相鉄企業

(上下水の処理など)  
・水と油のオブジェ制作  
・顕微鏡観察



#### ウエイズトヨタ神奈川株 小田原255店

(自動車販売など)  
間伐材で木のクルマ作り



9月25日はSDGsが国連サミットで採択された日。市民にSDGsをより知っていただくため、24日にHaRuNe小田原うめまる広場で「おだわらSDGsデイ2022」が開催されました。おだわらSDGsパートナー10者と市内の高校等によるアトラクションや体験ブースを用意。子どもから大人まで約800人が来場し、SDGsのアクションを“体感”しました。

#### トココン ◆横浜ベルマレフィットクラブ

(包装資材の販売など/地元のフィットサルチーム)  
トラダン活用ワークショップ



#### 小田原城北工業高校 ◆アールド・ヴィーヴル ◆デコリア

(障害福祉サービス事業所/壁紙メーカー)  
ライブジョークアート



当日の様子(動画)はこちら!



#### Nama Gâteau Au Chocolat

(生ガトーショコラ販売・製造)  
・途上国のカカオ農家のお話  
・チョコレートの試食



10 人や国の不平等をなくす

各国内や各国間の不平等を是正する

地域にいる外国人と一緒に安心して暮らせる方法を考えてみよう!

